

# INFORMATION

## ■ 症例検討会のご案内

北九州市立医療センターでは、地域の医療従事者の方々と一緒に医療技術向上のため、下記のとおり症例検討会を実施しています。

**\*今年度の開催につきましては未定です。開催が決定次第お知らせいたします\***

症例検討会名・開催日	時間・場所
<b>■ 乳腺テクニカルカンファレンス</b> 毎月 第2・4月曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
乳腺外科・放射線科・病理診断科の医師、放射線技師、臨床検査技師、スタッフで症例検討会を行っています。	
<b>■ 呼吸器カンファレンス</b> 毎週 火曜日開催	時間：17時～18時 場所：別館6階 講堂
呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
<b>■ 消化器カンファレンス</b> 隔月 第3木曜日開催	時間：18時～19時30分 場所：別館6階 講堂
消化器内科・消化器外科・病理診断科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	
<b>■ 周産期症例検討会</b> 奇数月 第3水曜日開催	時間：19時～20時30分 場所：別館6階 講堂
産婦人科・小児科・小児外科の医師、スタッフで症例検討会を行っています。	

※日程は都合により変更・中止になる場合がございます。事前に医療連携室へご確認の上、ご参加いただければ幸いです。  
 検討ご希望の症例がございましたらぜひご参加ください。皆さまの多数のご参加をお待ちしております。  
 \*事前の申し込みは必要ありません。(医療連携室 TEL：093-533-8660(直通))

## ■ 地域医療従事者研修会のご案内

**\*今年度の開催につきましては未定です。開催が決定次第お知らせいたします\***

【問い合わせ先】北九州市立医療センター 医療連携室 TEL.093-533-8660(直通)



# 輪



北九州市立医療センターニュース「輪」  
 第77号 2020年4月28日発行

### <基本理念>

わたしたちは公共的使命を自覚し  
 心のこもった最高最良の医療を提供します

編集長：尼田 覚

©2020 北九州市立医療センター /  
 本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為は  
 ご遠慮ください。

**編集** 日本が最も美しくまた活気に溢れているはずの春に、例年とは全く異なった異常な状況で新年度を迎えました。さながら有事のような雰囲気があります。桜が主役ではなくなってしまいました。新任の方々には歓迎のムードはなく申し訳ない気持ちでいっぱいです。広報誌も門出にふさわしいとはいきませんでした。当院の新たなスタッフを紹介させていただきました。「輪」は66号から私が担当させていただきましたが77号が最後の担当になります。人物を意識した情報の発信を心掛けてまいりました。ご支援どうもありがとうございました。(尼田)

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借2丁目1番1号 北九州市立医療センター  
 TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693  
<https://www.kitakyu-cho.jp/center/>

### 広報委員会「輪」編集委員

尼田 覚 重松宏尚 小園真吾 大津博恵 杉本優子 森崎恵美子  
 高見将彦 小野達也 木村祥子 佐藤美登里 天野健司 高木良輔



HP：QRコード



FB：QRコード

# 輪



CONTENTS

- 01 院長のごあいさつ
- 02 退任のごあいさつ
- 03 副院長就任にあたって  
統括部長就任にあたって  
新主任部長就任にあたって
- 07 2020年度 新任医師紹介
- 08 看護の広場／「がん看護外来」における  
認定看護師の活動について
- 09 登録医のご紹介
- 10 医療連携室だより

INFORMATION  
症例検討会のご案内

院長のごあいさつ



北九州市立医療センター  
院長 中野 徹

令和2年度のご挨拶を申し上げます

令和2年は、年初頭より新型コロナウイルス肺炎の対応に追われております。北九州地区唯一の第二種感染症指定医療機関としての中心的役割を市民、市保健福祉局、医師会、他の医療機関から期待され、帰国者・接触者外来、PCR検査、CT検査、入院処置を粛々と対応してまいりました。特に感染症内科（総合診療部）医師、感染症認定看護師、西2階、4北病棟の看護師、放射線課、検査課の担当職員の方々には深謝申し上げます。当院は西2階病棟に感染症病床を16床有しておりますが2人部屋4床で実働12床の病床数です。陰圧室は5室のみであり築29年と構造上も古く、人工呼吸器を搬入しての呼吸不全患者の対応可能人数は数名、ECMOを要する重症呼吸不全患者は1名となっています。北九州地区でも症例は増加しておりますが、透析患者さんを含め病態によっては地区の他の医療機関のご協力が必要となります、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和2年度の当院の進化はまず地域がん連携拠点病院（高度型）の認定にあります。北九州・筑豊地区のがん診療連携拠点病院の指導的役割を果たす予定です。今後もゲノム外来、ロボット手術等当院に必要とされる高度で安全な医療を提供してまいります。2点目は総合周産期母子医療センターの門戸を広げることです。従来high risk分娩のみの対応でしたが北九州地区の産科医減少に鑑み北九州市医師会、産科医会のお許しを得てご紹介いただけるrow risk分娩にも対応させていただきます。3点目は地域支援病院としての役割推進で、具体的には救急患者さんの積極的受け入れです。日勤帯を中心に救急を可能な限り受け入れてまいります。また連携ネット北九州の推進が本格化いたします。現在は145施設を超えたクリニックの先生方にご利用いただいておりますが今後、病院や介護施設とのネット連携を広げ情報共有を推進してまいります。独立法人化後2年、進化を続ける医療センターにご期待ください。



〔表紙写真について〕  
病院棟本館をバックに新人看護師総勢54名。新たな戦力として頑張ります。明るい笑顔でコロナなんか吹っ飛ばすぞ。

退任のごあいさつ／前 副院長  
永島 明 | Akira Nagashima

1992年呼吸器外科立ち上げのために当院に赴任して28年、副院長として4年が経過、3月31日付で定年退職を迎えました。呼吸器外科としてはゼロからの出発でしたが、他科の先生方、看護師、その他診療支援部の方々の応援、そして何よりも多くの患者さんを紹介していただいた病院やクリニックの先生方のおかげで、何とか北九州における肺がん治療の基幹病院としての地位を築くことができました。只々感謝です。最近では年間約160件の原発性肺がんを含め、230件前後の呼吸器外科手術を行うようになりました。まだまだ肺がんは増加しておりますし、手術症例も増加していくものと思われまます。私はメスを置きますが、引き続き市立医療センター呼吸器外科をよろしく願います。

Greetings



退任のごあいさつ／前 副院長  
岩下 俊光 | Toshimitsu Iwashita

このたび定年退職となりました。長い間お世話になり、ありがとうございました。  
1988年4月1日に北九州市立小倉病院外科に赴任しました。当時の病院は古く、コンクリートの廊下の穴に回診車がはまってガタンと大きく揺れ、病室はワンフロア36人の部屋があり、部屋のドアや壁はなく、ベニア板とカーテンで仕切られ、ベッドの上と下は開いているような野戦病院さながらの状態でした。しかし、手術の多い病院で、遠くからも患者さんが来られていました。長崎の島原の方と、大分の国東の人がベッドで隣り合わせのこともありまして。4年間の北九州市立若松病院外科勤務を挟んで、28年間医療センターにお世話になりました。この3年間は医療連携室長として、地域の先生方には大変お世話になり、感謝いたしております。今後とも北九州市立医療センターをよろしく願ひ申し上げます。

Greetings



退任のごあいさつ／前 副院長  
浦部 由利 | Yoshitoshi Urabe

この3月で定年退職により25年間の医療センターでの勤務を終えることとなりました。大学を卒業して、研修医、研究生活、病棟勤務、佐賀県立病院、米国留学ついで九大病院の勤務ののち当院でお世話になりました。急変もある循環器の患者さんを診せていただく診療科の責任者として、なんとか勤め上げることができたのはひとえに多くの方々を支えていただいた賜物であると深く感謝しております。40歳で当院にまいりましたときの同期は丸山俊博先生、有馬透先生でした。一番の若輩者である私も何とか卒業できそうです。北九州市の医療の中心のひとつであり、昨今は悪性腫瘍の治療で国立がん研究センターの評価もあり特徴のある医療施設として今後もますます発展していくことを願っております。本当にありがとうございました。

Greetings



退任のごあいさつ／前 副院長  
三木 幸一郎 | Koichiro Miki

2009年に北九州市立門司病院から異動して以来11年が経ちます。その間、肝臓内科の診療とともに、院内の診療情報の管理に携わってきました我々は常により良い医療を目指して日々努力していますが、医療の質はその記録によってしか検証することができません。連携ネット北九州の普及とともに、かかりつけ医の先生方も退院時要約などに目を通していただけるようになり、診療記録を通して当院の診療の内容を知っていただく機会が増えたと思います。かかりつけ医の先生方と情報を共有することによって、今まで以上に医療連携が進むことを今後も期待しております。長い間本当にお世話になりありがとうございました。

Greetings



**副院長就任にあたって**  
**渡辺 秀幸** | Hideyuki Watanabe

4月1日付で副院長を拝命しました放射線科の渡辺です。仕事もでき、人柄もよかった4人の前任副院長の後任ということで、非常に身が引き締まる思いです。今年度は情報管理業務および外来診療の業務改善を主に担当する予定です。

今後は、当院導入済みの連携ネット北九州のさらなる普及とシステム改善などを通じ、近隣の医療機関との良好な連携改善を行う所存です。将来的には近隣の医療機関があたかも1つの医療施設であるような、垣根のない情報交換や施設利用を目指したいと考えています。また長年の懸案である長い外来待ち時間を低減し、また診療待ちの際、患者さんが少しでも苦にならない時間を過ごしていただけるよう、知恵を絞りたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いたします。



**副院長就任にあたって**  
**西原 一善** | Kazuyoshi Nishihara

4月1日付で副院長に任命された外科の西原一善です。

「わたくしたちは公共的使命を自覚し、心のごもった最高最良の医療を提供します」との基本理念のもと、高度型地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院として最高最良のがん診療を継続します。また公共的使命の総合周産期母子医療センター、第二種感染症指定医療機関、災害拠点病院、臨床研修指定病院として、周産期医療、感染症対策、災害対策訓練、若手医師の育成などを行い地域医療に貢献していきます。

そのために必要な4S(staff 優秀な人材、stuff 必要物品、structure 設備、systems システム)の整備を行い、医療水準、動きやすさ、経営効率の向上を図るべく病院運営に携わってまいります。よろしくお願申し上げます。



**副院長就任にあたって**  
**尼田 覚** | Satoshi Amada

このたび、副院長を拝命いたしました尼田覚でございます。これまでの3年間当院また地域医療の発展に統括部長として何ができるのか、何をしなければならぬのかを悩みながら私なりに役割を果たしてきたつもりでございます。その3年間の経験を礎に今後も北九州医療圏における当院の役割、義務を果たしていくよう邁進してまいります。また産婦人科診療にも患者さんおよび地域の先生方に少なからずお役に立てたのではないかと自負しております。婦人科腫瘍を中心とした産婦人科診療に対する情熱は変わりなく持ち続けています。むしろそれがなければ私の当院での存在価値はないものと思っております。引き続き今まで通りのご支持の程をよろしくお願いたします。



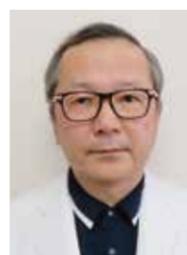
**副院長就任にあたって**  
**秋穂 裕唯** | Hirokata Akihi

4月より副院長を拝命いたしました。

2011年に消化器内科主任部長として赴任、2年前より統括部長として病院の運営に関わり、今年からは地域の医療連携と広報活動を中心に活動いたします。

最新の医療施設を揃え当院外科と両輪となり、また粒子線治療施設など他県の医療機関と連携し診療を行っていきます。消化管・胆膵疾患の内視鏡診断・治療、化学療法、増えつつある炎症性腸疾患に対するグローバルの治験、新しい機序が解明されつつある機能性消化管障害の診療をさらに充実させていきます。

日々の研鑽に努め、質の高い医療を提供し、地域医療と医学の発展に貢献していく所存でございます。今後ともご指導のほどよろしくお願申し上げます。



**統括部長就任にあたって**  
**坂本 真人** | Masato Sakamoto



心臓血管外科の坂本です。4月1日、統括部長を拝命しました。大学卒業以来、臨床一筋で手術をメインの業務としておりました。微力はもちろんのことですが、初めて病院管理、企画などの片隅を担うこととなります。どのようなことができるのか、まだ手探りの状況ではありますが、精いっぱい努力する所存です。まずは些細なことでも口に出すことから始めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

**統括部長就任にあたって**  
**阿南 敬生** | Keisei Anan



1996年に北九州市立若松病院外科に入職し、1997年より北九州市立医療センターに勤務しております。専門は乳腺甲狀腺外科です。得意分野は乳がんの手術、マンモグラフィの読影、乳がんの薬物治療です。近年のがん治療はゲノム医療等の医学の進歩による変化だけでなく、医療経済等の社会的課題、さらに現在はCOVID-19の影響を受けております。状況は変化しておりますが、質の高い医療を提供し続けることができよう、尽力いたします。今後とも相変わらぬようどうぞよろしくお願申し上げます。

**統括部長就任にあたって**  
**高島 健** | Takeshi Takashima



このたび、統括部長を拝命いたしました。2002年に総合周産期母子医療センター主任部長として入職し、2016年から同センター長を務めさせていただいております。少子化が確実に進行している一方、最近では地域の産科診療所の縮小が起きている。北九州市都市圏における周産期医療のために、新しい立場からいっそう努力をしておりますので、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**統括部長就任にあたって**  
**西坂 浩明** | Hiroaki Nishizaka



本年4月より統括部長を拝命いたしました西坂と申します。2008年に当院に赴任し、膠原病内科を担当しております。地域がん診療連携拠点病院である当院において膠原病内科はマイナーな領域ではありますが、専門医や専門医療機関が少なく、またがんと異なり治療終了がほとんどないので、患者さんの数は多く増えるばかりです。毎日外来でも診療業務以外は難しい状況でしたが、今後は少しでも病院や地域医療の役に立つよう努力してまいりたいと存じます。何卒よろしくお願申し上げます。

**統括部長就任にあたって**  
**長谷川 周二** | Shuji Hasegawa



このたび4月より、統括部長を拝命した、泌尿器科の長谷川周二です。1997年に北九州市立医療センターに就職して、24年間泌尿器科診療に携わってきましたが、今回、統括部長として病院全体の運営に関わることとなり、自分にその能力があるのか不安でもあり、責任の重さを痛感しています。当泌尿器科でも、昨年、ロボット支援手術(ダウインチでの手術)を導入しており、より低侵襲での手術を目指しております。また、がんに対する薬物療法に関しても、新たな免疫療法(免疫チェックポイント阻害薬)の導入も積極的に進めています。今後はがん診療の地域の要として、より一層努力していくつもりです。自分自身も、医療の質向上のための、また、引き続き地域の皆さまの信頼とご期待に応えるよう日々の研鑽に努めていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

**統括部長就任にあたって**  
**沼口 宏太郎** | Kotaro Numaguchi



このたび統括部長を拝命いたしました。心血管疾患の多くは、いわゆる生活習慣病であり、心臓血管外科の先生のみならず、看護師・各部門の技師・リハビリなどの院内スタッフの方々の協力なしでは、診療を円滑に進めることは難しいです。また、近年の心不全患者数の増加もあり、開業医の先生方との連携もますます大事になってきています。循環器内科としてはもちろんながら、今後一層、地域の先生方から頼りにしていただける病院となるべく、微力ではございますが、努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願申し上げます。

**統括部長就任にあたって**  
**濱武 基陽** | Motoharu Hamatake



このたび4月より統括部長を拝命いたしました呼吸器外科の濱武基陽です。2017年より呼吸器外科主任部長として、肺がんの外科治療を中心に診療を行ってきました。肺がん手術の安全性や根治性のさらなる向上、からだへの負担の軽減、術後の生活の質の向上をさらに進めてまいります。また、微力ではありますが、地域の連携を促進して、院内外の皆さまのお役に立てるよう努力していく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

**統括部長就任にあたって**  
**田宮 貞史** | Sadafumi Tamiya



このたび統括部長および診療支援部長に就任することとなりました。診療支援部は多岐にわたる課の部門で、臨床検査に関しては近くで見えてきた部分もありますが、その他に関しては業務内容からして一からすべて勉強という状態です。各診療科での医療チームに広く関わる部門ですので、情報共有および連携を強化できるように発展できればと考えております。何かお役に立てるよう努力する所存でございますのでよろしくお願いたします。

腫瘍内科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
佐藤 栄一 | Eiichi Sato



この度、4月より腫瘍内科主任部長を拝命いたしました佐藤栄一と申します。当科は今年で発足13年目になります。あらゆる臓器のがんを対象とし、個々に応じたがん薬物療法および治療方針を考え、各診療科医師や医療スタッフとともにチームで医療を提供しております。

また、令和1年より九州大学病院と連携し、がんゲノム医療にも携わっております。今後も引き続き、北九州地区のがん治療に貢献していく所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

小児科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
高畑 靖 | Yasushi Takahata



このたび4月から小児科主任部長を拝命いたしました高畑靖と申します。これまで小児科、特に新生児医療を専門にしてきております。

北九州は初めてです。よろしくお願いいたします。

泌尿器科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
立神 勝則 | Katsunori Tatsugami



手術支援ロボット“ダビンチ”を使用した腎がんに対する腎機能温存術や前立腺がんに対する性機能温存術など、患者QOLの向上を目指した低侵襲治療を行ってきました。当院でも高度で安全な医療が提供できるよう努めてまいります。

耳鼻咽喉科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
竹内 寅之進 | Toranoshin Takeuchi



研修医以来、約20年ぶりの北九州勤務です。北九州市の耳鼻咽喉科診療に貢献できるよう、粉骨砕身で頑張っております。よろしくお願いいたします。

乳腺甲状腺外科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
齋村 道代 | Michiyo Saimura



このたび乳腺甲状腺外科主任部長を拝命いたしました齋村道代と申します。27年間がんを中心とした外科診療に携わってまいりました。在職15年目となり、乳腺専門医として特に女性の健康、社会貢献、生活の質の維持を切に願いながら、日々の診療を行っております。今後も質の高い医療を継続的に提供できるように、地域連携および院内連携をさらに強化してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

小児外科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
中村 晶俊 | Masatoshi Nakamura



10年ぶり2度目の赴任となります。当センターの特徴である総合周産期母子医療センターの1部門としての新生児外科手術に加え、小児内視鏡外科手術、重症心身障害児の外科治療や管理も積極的に行っていきたく思います。ご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

産婦人科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
兼城 英輔 | Eisuke Kaneki



前任地の九州大学病院では、主に産婦人科悪性腫瘍の腹腔鏡手術を担当していました。頑張りますのでよろしくお願いいたします。

放射線科  
新任部長就任にあたって *New manager*  
柿原 大輔 | Daisuke Kakihara



本年4月より放射線主任部長を拝命いたしました柿原と申します。主に腹部画像診断およびIVRを担当しております。放射線科は、臨床各科との連携あってこそ存在であり、同様に、地域の医療機関の皆さま方とも、協力関係を築いていきたいと考えております。皆さまの信頼を得られるように、尽力してまいります。画像診断に関することは、何でもお気軽にご相談いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

Welcome to KMMC

2020年度  
新任医師紹介

KMMC期待の新任医師27名です。  
皆さんよろしくお祈りします。

Welcome to KMMC

Question  
【質問内容】50音順  
Q1.所属診療科  
Q2.得意分野  
Q3.自己PR

Profile 01 / Takahiro Arimura



有村 貴博  
A1. 循環器内科  
A2. 循環器一般  
(カテーテル・心エコー)  
A3. 虚血性心疾患のインターベンション治療、心エコーによる心臓病への診断等で患者さんの診断、治療に貢献いたします。高水準の判断治療を目指します。

Profile 05 / Shinya Umekita



梅北 慎也  
A1. 消化器内科  
A2. 消化器  
A3. これまで培ってきた経験を活かして北九州の皆さまのお力になりたいと思っています。まだまだ未熟者ではありますが、できる限りの努力をさせていただきます。これからよろしくお願い致します。

Profile 09 / Kanako Kurata



倉田 加奈子  
A1. 外科  
A2. 一般外科  
A3. 3年ぶりに当院で勤務いたします。手術外来診療に全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 02 / Ririko Izumi



泉 りりこ  
A1. 産婦人科  
A3. 昨年度まで佐世保共済病院で働いていました。総合周産期母子医療センターでの勤務は久しぶりになります。専門医試験のある年度であり、精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

Profile 06 / Akiko Kato



加藤 明子  
A1. 耳鼻咽喉科  
A2. 耳鼻咽喉科一般  
A3. 北九州市での勤務は7年ぶりです。微力ながら、皆さまに貢献できますよう、日々努力いたします。よろしくお願いいたします。

Profile 10 / Michiko Kono



河野 倫子  
A1. 内分泌代謝・糖尿病内科  
A3. 子ども時代を小倉で過ごしました。自分の育った街で仕事ができることをうれしく思います。地域の皆さまの健康に貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

Profile 03 / Tomohiro Inoue



井上 智博  
A1. 泌尿器科  
A3. 泌尿器科医4年目です。外来、入院、コンサルトと一所懸命診させていただきます。よろしくお願いいたします。

Profile 07 / Miyuki Kuga



久貝 美由紀  
A1. 放射線科  
A3. 医師6年目、入局4年目です。今年専門医試験を受験予定です。今までは読影中心でしたが、今年から放射線専攻となりました。気持ちを新たに邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

Profile 11 / Maiko Sugitani



杉谷 麻伊子  
A1. 産婦人科  
A2. 周産期  
A3. 昨年10年ぶりに北九州市立医療センターに戻ってきました。この4月から常勤になります。この10年で専門医になり、博士号を取得し、私生活では3児の母になりました。患者さんに寄り添う診療を心掛けてまいります。

Profile 04 / Shinichiro Iwata



岩田 真一郎  
A1. 整形外科  
A2. 外傷・整形一般  
A3. はじめまして、平成24年度卒の岩田真一郎と申します。ここ小倉は、生まれ育った地元であり、少しでも北九州の医療に貢献できるよう日々精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

Profile 08 / Yasuhisa Kuniki



國木 泰久  
A1. 消化器内科  
A2. 大腸内視鏡/止血術  
A3. 消化器内科の國木です。120床~1,048床とさまざまな病院で働き先輩の指導にも努めてまいりました。産業医大卒で北九州歴が長く、古巣に戻った気分です。よろしくお願いいたします。

Profile 12 / Kazuki Takada



高田 和樹  
A1. 呼吸器外科  
A2. 呼吸器外科・腫瘍外科学・がん化学療法  
A3. 肺がんの治療を中心とした胸部悪性腫瘍の診療に携わっています。安全で信頼できる外科治療を提供できるように努力してまいります。よろしくお願いいたします。

Welcome to KMMC



Profile 13 / Nobutoshi Take

A1. 皮膚科  
A2. 皮膚真菌症  
A3. 4月から皮膚科に赴任しました武と申します。自分は北九州市出身で9年前に研修医としてこの病院で研修をしていました。自分を育ててくれた北九州市立医療センター、そして北九州市に恩返しできるよう頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。

武 信肇

Profile 18 / Nobutaka Hachisuga

A1. 産婦人科  
A2. 周産期  
A3. 研修医1年目として鍛えていただいた病院に12年ぶりに戻ってまいりました。多少なりとも恩返しができるよう、しっかりと働きたいと思っております。

蜂須賀 信孝

Profile 23 / Ryota Matsuda

A1. 外科  
A2. 消化器外科一般  
A3. 4月より赴任いたしました松田と申します。地域の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

松田 諒太

Profile 14 / Chikanori Tsutsumi

A1. 外科  
A2. 外科一般  
A3. 4月から赴任いたしました堤親範と申します。地域の皆さまのお役に立てるよう全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

堤 親範

Profile 19 / Fumihiko Hirai

A1. 呼吸器外科  
A2. 呼吸器外科一般、がん薬物療法  
A3. 4月より勤務させていただきます呼吸器外科の平井文彦と申します。少しでも患者さんに満足できるように心掛けていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

平井 文彦

Profile 24 / Eriko Matsubayashi

A1. 消化器内科  
A2. 内視鏡検査・治療  
A3. がん治療の盛んな北九州医療センターで働かせていただき、勉強させていただきます。皆さまのお力になれるよう頑張ります。

松林 江里子

Profile 15 / Shinichi Tsuruta

A1. 病理診断科  
A2. 消化管  
A3. まだ、半人前なので精一杯頑張ります。専門は消化管ですが、全身臓器の勉強をしたいと思います。

鶴田 伸一

Profile 20 / Atsuko Fujita

A1. 循環器内科  
A2. 内科・循環器領域  
A3. 北九州の地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

藤田 敦子

Profile 25 / Shun Mizusaki

A1. 呼吸器内科  
A2. 呼吸器疾患全般  
A3. 4月から赴任しました水崎と申します。未熟者ではございますが、少しでも皆さまのお役に立てますよう日々精進してまいりますので、何卒お願い申し上げます。

水崎 俊

Profile 16 / Megumi Nakazawa

A1. 総合診療科  
A2. 感染症  
A3. 感染症を専門にしています。北九州は初めてですが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

中澤 愛美

Profile 21 / Kohei Horioka

A1. 外科  
A2. 消化器外科・内視鏡外科  
A3. 地域の皆さまに安心・安全かつ高度な医療を提供させていただくため一生懸命努力してまいります。

堀岡 宏平

Profile 26 / Aoi Morita

A1. 産婦人科  
A2. 産婦人科一般  
A3. 4月より赴任しました森田葵と申します。少しでも皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

森田 葵

Profile 17 / Keisuke Nakayama

A1. 整形外科  
A2. 外傷一般  
A3. 浜の町病院から赴任してきました。一昨年はJCHO九州病院にいたので二度目の北九州になります。よろしくお願いいたします。

中山 恵介

Profile 22 / Hiromasa Maemura

A1. 放射線科  
A2. 画像診断  
A3. 北九州市の医療に貢献できるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

前村 大将

Profile 27 / Sho Yoshimura

A1. 内分泌代謝・糖尿病内科  
A2. 内分泌代謝疾患・糖尿病  
A3. お世話になります。内分泌代謝・糖尿病内科の吉村将と申します。2年ぶりの小倉での勤務を楽しみにまいりました。

吉村 将

COVID-19の流行であるあるシティに通えないのが辛いですが、皆さまのお役に立てるよう精進いたします。どうぞお気軽にお声かけください。

がん看護外来

「がん看護外来」における認定看護師の活動について



がん性疼痛看護認定看護師 太郎良 純香

北九州市立医療センターでは、令和2年3月現在12分野22名の認定看護師(特定の分野において専門的な教育を受けた看護師)が存在し、患者さん・ご家族が満足していただけるよう看護の質の向上を目指して日々努力しています。院内の組織横断的な活動や研修会の企画・運営、また、院外でも実践・指導および研修講師として、専門分野における期待される役割の発揮に努めています。その中で、がん看護に関しては、がん性疼痛看護、緩和ケア、がん化学療法看護、乳がん看護、がん放射線療法看護分野の認定看護師がチーム医療の要として活動しています。

がん看護分野認定看護師の活動の1つとして、「がん看護外来」での活動があげられます。がんと診断され、治療方針が伝えられた患者さん・ご家族が安心して病気と向き合い、治療を受けていただけるよう、さまざまな疑問や不安に対し、認定看護師が話を聞かせていただきながら、担当医師や看護師などと連携を図り、療養生活をサポートさせていただいています。「がん看護外来」では、「インフォームド・コンセント」(一般的に「説明と同意」と訳される)の支援や《苦痛スクリーニング》とつらさへの相談対応などを行っています。

《インフォームド・コンセント》の支援としては、患者さんが医師の説明に対し理解・納得して同意し、患者の意向に沿った最善の医療や療養場所の選択が実現するように、説明時に

同席させていただき、不安や不明な点について一緒に考え、治療方針や療養の場などの意思決定の支援を行っています。《苦痛スクリーニング》では、がんと診断されたとき、治療の経過、あるいは再発や転移がわかったときなどの場面で生じる身体面、精神面、日常生活や経済面(お支払いや仕事に関する事など)のつらさについて、スクリーニングシートを用い確認させていただき、相談の対応をさせていただいています。つらさの内容によっては、主治医や担当看護師、緩和ケアチーム、他分野の認定看護師などと連携を図り、早期の苦痛緩和に努めています。

また、今年度の認定看護師主催研修として、がん看護分野では、『明日から役立つがん看護』として、①「がん患者の意思決定を支える看護」、②「リンパ浮腫とケア」、③「放射線治療の概要と有害事象の看護」、④「免疫チェックポイント阻害剤の有害事象と看護」、⑤「アピラランスケアの実際」、⑥「緩和照射」、⑦「家族看護」、⑧「悲嘆・喪失」をテーマに研修会を開催しました。次年度も皆さまに関心を持っていただける内容をお届けしたいと考えています。興味がある内容の回だけの受講も可能ですので、ぜひともご参加ください。

今後とも、がん看護外来の活動にご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。



がん看護分野CNの皆さん

# Registered physician Information



登録医のご紹介

Clinic  
1

## 大手町いまながクリニック

### INFORMATION

所在地：小倉北区大手町13番34号ハローパーク大手町2階  
TEL：093-562-2580 院長：今永 知俊  
FAX：093-562-2581 診療科目：内科、呼吸器内科



院長  
今永 知俊



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○*	×
14:30~18:00	○	○	○*	×	○	×	×

※1：土曜日/午前8:00~12:00 ※2：水曜日/午後14:30~19:00



### アピールポイント

呼吸器専門医、総合内科専門医として診療を行っており、喘息、COPD、酸素療法の必要な呼吸不全や睡眠時無呼吸症候群、禁煙治療など呼吸器疾患の診療を中心に、生活習慣病などの一般内科診療を行っています。

### 市立医療センターへの一言

多くの患者さんの期待を集め、その期待に応える高度な医療を提供されており、信頼を寄せております。高度な医療を提供する一方で、医療連携に注力され、地域医療を支えていただき、感謝しております。

Clinic  
2

## たつのおとしごクリニック

### INFORMATION

所在地：八幡東区大蔵3丁目2-1 院長：小野 隆生  
TEL：093-652-5210 診療科目：内科、  
FAX：093-652-5250 神経内科(ものわずれ外来)



院長  
小野 隆生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	×	×
14:00~17:30	○	○	○	○	○	×	×



### アピールポイント

社会福祉法人年長者の里は、高齢者の方に安心をお届けすることを使命としています。法人内の診療所として、2001年に開院しました。2015年から北九州市認知症疾患医療センター(連携型)の指定を受け、認知症の診断・治療・介護支援を行っています。法人内外の介護施設等と連携して、高齢者支援に微力を尽くしてまいります。

### 市立医療センターへの一言

北九州市立医療センターには、がん診療拠点病院として、患者様の緩和ケアも含め大変お世話になっております。今後とも、高度医療の必要な方への御支援をよろしく願いいたします。

# 医療連携室だより

平素より、当院の地域医療連携につきましては、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。また、この度は新型コロナウイルス感染症対策による外来診療の制限等当院の診療へのご協力に感謝いたします。

医療連携室では、4月の人事異動に伴い、新たな体制で2020年度をスタートいたしました。医療連携室長に秋穂裕唯副院長、地域医療連携推進担当部長に沼口宏太郎統括部長を迎え新体制のもと、連携機能を充実させてまいりたいと思っております。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、当院が定期的で開催しております、「地域医療従事者研修会」「各科症例検討会」は当面の間お休みさせていただきます。開催の折にはホームページ等にてお知らせいたします。

2020年度は、皆さま方とお会いしてのご挨拶が難しい状況ですが、医療連携室一同一丸となって連携業務に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携推進担当係長 佐藤 美登里

### 新メンバー紹介



医療連携室長  
秋穂 裕唯 副院長



地域医療連携推進担当部長  
沼口 宏太郎 統括部長



地域医療連携推進担当係長  
田代 真紀



地域医療連携推進担当係長  
久富 秀司



地域医療連携推進担当課長  
大津 博恵



地域医療連携推進担当係長  
佐藤 美登里



地域医療連携推進担当係長  
播磨 由美

医療連携を基本に業務内容の充実を図り、地域医療機関、患者さん、職員からも安心して頼りにされるよう取り組んでまいります。

### 【医療連携室】

TEL 093-533-8660(直通) FAX 093-533-8718 E-mail: byou-iryuu-renkei@kitakyu-cho.jp ※患者さんのご紹介は、E-mailでは受付けておりません。